

第 1 1 4 回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成 2 5 年 1 2 月 1 3 日 (金)
- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 1 2 : 0 0 | 第 114 回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 1 4 : 4 5 | 経産省ヒアリング | 経産省会議室 6 F |
| 1 6 : 1 5 | 業界紙記者と懇談 | 当組合会議室 |

2. 第 1 1 4 回総務委員会

出席者 笹田幹雄 (理事総務委員長)

高木 建 (理事長)

酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)

高木唯夫 (副理事長・東海支部長)

浅野博之 (副理事長・大阪支部長)

木村昭夫 (副理事長・九州支部長)

柘野 (事務局)

- 議 題 (1) 経済産業省 4 Q ヒアリング資料の検討について
(2) 監事の交代について
(3) 2 6 年新年賀詞交歓会の出席状況について
(4) 次期通常総会の開催要領 (案) について
(5) 第 5 回全国青年交流会の開催案について
(6) 今後の会合予定について

経 過

笹田委員長の司会により議事が進められた。

(1) 経済産業省 4 Q ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部修正の上了承された。(資料は別稿参照)

(2) 監事の交代について

事務局より、額額協氏及び福原廣勝氏より、監事辞任の申し出があった旨、報告。

本件に関し、「後任については、従来通り、東京支部の方に監事をお願いしたい」との意見が出され、種々審議の結果、異議なく了承された。なお、本件は、総務委員会の審議結果を踏まえ、26 年 4 月 16 日理事会、5 月 16 日通常総会に付議し、了承を得る予定である。

(3) 2 6 年新年賀詞交歓会の出席状況について

事務局より、来年 1 月 1 5 日 (水) 開催の標記新年賀詞交歓会の開催概要及び出席予定者に関し、以下の通り説明が行われ、了承された。

・日時 平成 2 6 年 1 月 1 5 日 (水) 1 7 : 0 0 ~

- | | |
|---------|-----------|
| ①受付開始 | 1 6 : 0 0 |
| ②立礼役員集合 | 1 6 : 3 0 |
| ③立礼開始 | 1 6 : 4 0 |
| ④開会 | 1 7 : 0 0 |
| ⑤中締め | 1 8 : 3 0 |

- ・会場 ロイヤルパークホテル3階「ロイヤルルーム」
- ・出席予定者数 630名（うち当組合員125名、12/12現在）
- ・幹事団体 全国鉄鋼販売業連合会

（4）次期通常総会の開催要領（案）について

第94回理事会（H25.10.25／書面開催）において承認された、第39期通常総会の開催要領（案）について、旅行会社担当者より説明があった後、種々検討が行われた。審議の結果、概要以下の通り決定した。

- ・平成26年5月16日（金） 和歌山県白浜町「コガノイベイホテル」
16:00～17:00 第39期通常総会
17:30～19:30 懇親会
- ・平成26年5月17日（土）

懇親ゴルフ会 朝日ゴルフクラブ白浜コース

なお開催案内状は、2月上旬に出状する予定。

（5）第5回全国青年交流会の開催について

過日、東京支部青年会の松丸会長より、掲題について大要以下の提案・申入れがあった。

「12月4日開催の在京理事・役員合同懇談会の場で、来年の青年交流会の開催について、高木理事長、酒匂支部長、笹田総務委員長にご相談した。その結果、『九州支部の事前了解を得たうえで、新日鉄住金・大分製鉄所及び臼杵造船所を見学コースにすれば、良い研修になるのではないか。見学会後は、近くの別府あたりに会場をとって、勉強会・パーティを開催するのも一案だと思う。』とのご意見をいただいた。

その後、東京支部青年会役員とも打合わせを行った。東京支部青年会が中心となって準備を進めるので、大分開催の方向でご検討をお願いしたい。」

本件に関し、実現性の可否や実施方法等について意見交換が行われた。まず、木村九州支部長からは、「九州支部は青年会組織がないので、この受け皿にはなれない。東京支部青年会が主催の形で実施するのであれば、大分開催に異存はない」、また高木理事長、笹田総務委員長からは、「大分開催が決まれば、見学先の受け入れ手配については協力する」等の意見があり、大分開催については、異議なく了承された。

今後の開催準備については、東京支部青年会と事務局が連携して、計画案を検討・作成することとし、まず会場及びバス手配等については旅行会社に依頼し、詳細スケジュールを詰めていく予定である。

「全国青年交流会」の開催一覧

第1回	平成22年10月15日（金）	浦安鉄鋼会館
第2回	平成23年10月14日（金）	名古屋国際ホテル
第3回	平成24年10月19日（金）	大阪鉄鋼会館
第4回	平成25年 9月20日（金）	北海道経済センター
第5回	平成26年10月17日（金）	大分・別府（予定）

（6）今後の会合予定について（1ページの会議会合予定表をご覧ください）

3. 25年度4Q経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

山下鉄鋼課長、但馬課長補佐他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、高木東海支部長、浅野大阪支部長、
木村九州支部長、笹田理事総務委員長、
柘野（事務局）

経過

最初に、高木理事長より、「足元の状況は、建築・建産機ともにプラス基調を辿り、回復の足取りが確かなものになってきた。久方ぶりに良い年越しができそうである。前回9月時点は、回復の兆しがやっと出ていた程度であったが、現在は地域差や機種間の差が薄れて、業況改善の裾野が広がっている。需要回復が着実に進む中で、新たな課題も生じている。材料の入手難やコストアップの問題である。量は出てきたが採算面の改善につながっていない。各社は、材料値上げ分の転嫁や、適正加工賃の確保に向け、一段の自助努力が求められている。需給タイトの今こそ、新たな商慣習づくりを模索する好機にすべきと考えている。またシャーへの受注内容は、短納期や工期の急な変更、二次加工要請の増加で効率が低下しており、繁忙な割に数量や収益が伸びない。

行政当局には、当業界の窮状をご理解いただくとともに、公共投資の平準化に対しても是非ご配慮いただきたい。来年も引き続きご支援・ご指導をお願いしたい。」との挨拶ならびに要望が行われた。

続いて、各支部長から地区情勢報告があった後、鉄鋼課より、「フル生産状態での切断量はどれくらいか。」「需給タイトな中で、なぜ価格転嫁は遅々として進まないのか。」等の質問が出され、種々意見交換が行われた。

以上